

2021年度（令和3年度・第7期）

事業報告書

1. 2021年度を振り返って
2. 2021年度 事業報告書
 - ・全体概要および事業内容補足事項
 - ・運営に関する事項
3. 2021年度 活動計算書
4. 2021年度 貸借対照表
5. 2021年度 財務諸表の注記
6. 2021年度 財産目録
7. 監査報告書

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

1. 2021 年度を振り返って

2021 年度も世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、私たちの業界だけでなく、この報告書を目にする皆様にとっても、先の見通しが立ちづらかった年ではないでしょうか。しかし、そんなコロナ禍中でも多くの方のご協力やご支援、スタッフたちの頑張りによって、病気を抱える子どもたちへの支援を継続して実施することができました。昨年度にある子どもが言った「時代が俺たち（病気を抱える子どもたち）に追いついてきた」という言葉が、本当にそうなるかのように、オンライン化が子どもたちの追い風となり、より前に進んだこともあった、そんな1年でした。

Mission

(ポケットサポートが社会で果たすべき使命)

- ①環境をつくる
- ②生きる力を育む
- ③人や気持ちを繋ぐ

1 つ目のミッション「環境をつくる」では、今年度も学習支援や復学支援、子どもたちに関わる支援をオンライン化して実施しました。

約5年前から行ってきたICTによる学習支援や、学校行事の中継など、今までポケットサポートが培ってきた様々なノウハウを存分に活かし、病院に入院している子どもたちへのオンライン支援は前年度よりも増加しました。入院中～退院後の自宅療養へ移行した子どもへの支援では、切れ目ないサポートを届けることができました。今年度から開始した週末の「ポケサポデー」は、自宅療養中の中高生たちを中心に、大きな盛り上がりを見せました。同じような病気療養を経験してきた

仲間たちが集うこともあり、病気を抱える10代の若者やきょうだいがそれぞれの立場で経験を語り、励まし合う、そんな姿も見られました。

YouTube ライブ配信による学習講座の配信やイベントも同様に、ステイホーム中の子どもたちやご家族、オンラインのシンポジウムでは全国の支援者の方々とも多く繋がり、活発な意見交換や交流ができました。2021 年度はポケサポならではの新たな学習支援や交流支援、啓発活動を届けるシステムがどんどん出来上がっていったように感じています。

2 つ目のミッション「生きる力を育む」では、今年度を振り返ったときに忘れることはできない、8ヶ月の長期入院、治療を経て自宅療養になった子がいました。彼とは入院から退院後、自宅での長い療養生活の間も、ほぼ毎週のようにオンラインで顔を合わせながら過ごしてきました。笑い合い、ときには不安な姿を見せて相談を受けるなど、大学生の学習支援ボランティア（パートナー）たちと一緒に励ましあいながら過ごす時間もとても長くなっていました。

そんな彼は、この4月から新たな道に歩むため、進学を果たします。特に3月末のオンライン交流支援では、しみじみとした感じを醸し、大学生のパートナーたちと少し涙ぐみながら、挨拶を交わす姿が見られました。お互いに、頑張ってきた姿をずっと見てきたからこそ、「これからがんばるよ～」「みんなも頑張ってるね～」と今までの気持ちやエールが飛び交うシーンは本当に印象的でした。ポケットサポートができる、入院中から退院後まで切れ目ない繋がり、そしてみんなで「生きる力を育んだ」忘れられない事例です。



「ポケサポ相談ダイヤル」にも岡山県内だけでなく、県外からも多くの相談やご連絡をいただきました。特にコロナ禍の復学に関するものが多く、学校側が理解してくれず困惑している状況や、これから就学するにあたってどのような支援を学校へ求めていけば良いかなど、ポケットサポートが復学に関する専門性を求められることが多くありました。ときにはケース会議に出席し情報を提供しながら、毎回、保護者・本人の言葉に耳を傾け、ひとつひとつスタッフが丁寧に対応していただきました。子どもや保護者との出会い、相談いただいた内容は、当団体にも大切な財産となっています。

3つ目のミッション「人や気持ちを繋ぐ」では様々な「繋がり」を生むことができました。岡山県教育委員会の「長期療養児教育サポート相談窓口」との協働では、今年度も長期入院を余儀なくされている高校生への遠隔授業のサポートを数件実施することができました。入院中でも所属高校の授業へ参加することができ、学びを途切れさせないということが実際に行える素地が固まってきたように思います。また、入退院を繰り返す子どもが院内学級に在籍をしながらも、院内学級の授業以外の時間に地元の学校とオンラインで交流する取り組みも実現できました。

この事例は医療機関、学校、家族、そして私たちNPOも協働の中に入り、ケース会議と現場での支援実施が行なわれました。「繋がり」といった点で、とても印象的だったのは入院中のAさんと自宅療養中のBさんがオンライン交流の場で繋がったことです。このAさんとBさんは初対面でしたが、同世代と言うこともあり、自己紹介などをした後、そこまで時間をかけることなく関係が育まれていきました。同じように闘病している者同士と言うこともあり、治療中のあるある話や学校生活の事、友達関係の事など気軽に話せる間柄となっていました。特に入院中のAさんは、このことがとても嬉しかったらしく、病院のスタッフにBさんとの話をよくしていたと報告も受

けました。私たちとしても入院中の子どもと自宅療養中の子どもが繋がるということは初めてのことで、オンラインでの支援ならではの事例となりました。

夏には、地元企業の萩原工業様のご支援より、大原美術館様とコラボしてオンラインツアーも実施することができました。小児がんの子どもの支援を行っているチャイルド・ケモ・ハウスさんともコラボし、神戸市のお子さんご家族も参加していただくことができました。感染症対策のため外出が難しい昨今ですが、みんなで楽しく美術について学べる機会を持てたことによって、とても素敵なイベントとなりました。

Yahoo!基金の助成で実施した「みんなで応援BOX」の配布では、これまでの利用者だけでなく全国から応募があり、新たな関係性を育むことができました。同時に「ひとりじゃないよ」という私たちのメッセージを多くの当事者たちへ届けることもできました。

2022年度も病気を抱える子どもたちの様々な社会課題の解決に向け、どんな状況下でも安心して学び、交流のできる場を提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。支援活動を行っていくために欠かせない、医療機関や学校などの様々な機関・人と、連携・協働しながら、この1年も変わらず病気による困難を抱える子どもたちを支える支援団体として認定NPO法人ポケットサポートの応援をよろしくお願いたします。

代表理事 三好 祐也

2. 2021年度（令和3年度・第7期）事業報告

(1) 病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業名	事業内容	区分	支費	受益対象人数
		開催回数・場所		復学済
個別学習支援 双方向WEB学習支援	自宅療養中や復学初期の子どもに対してのICT機器を活用した学習サポート	自主	1,172,882	小中高校生のべ約30名
		随時・オンライン等		30名
ボランティア育成	学習支援及び相互交流支援を行う人材育成、オンライン支援に必要なPC等の環境整備	助成	341,626	大学生のべ約150名
		随時・オンライン等		5名
オンライン支援の岡山モデル構築	遠隔操作ロボット試作およびプレスリリースPR TIMESによる情報発信	助成	1,302,663	小中高校生のべ約40名
		随時・オンライン等		5名
病気療養する中高生が安心して学べる環境整備	学校現場で導入されているchromebook導入 現役中高生3名にインタビューした冊子制作	助成	359,747	中高生・教職員のべ約100名
		随時・オンライン等		5名
		小計	3,176,868	

(2) 病弱児同士の交流や集団での学習活動の支援事業

事業名	事業内容	区分	支費	受益対象人数
		開催回数・場所		復学済
ポケットスペース運営	利用者の環境に応じた相互交流、ピアサポート相談、学習支援を実施	受託	2,705,030	小児慢性特定疾病児童等のべ約150名
		毎週2回・オンライン		30名
体験交流イベント	季節に応じた交流イベントのオンライン開催	自主	2,267,475	小中高校・若者のべ約60名
		年間5回・オンライン		10名
きょうだい・家族ケア	クリスマスプレゼント送付、きょうだいへ知育玩具等のおすそ分けなどを実施 企業からの現物寄付は支援学校等にも配布	自主	2,288,200	当事者家族等のべ約80名
		随時・郵送等		5名
		小計	7,260,705	

(3) 病弱児への支援に関する啓発活動および拡充事業

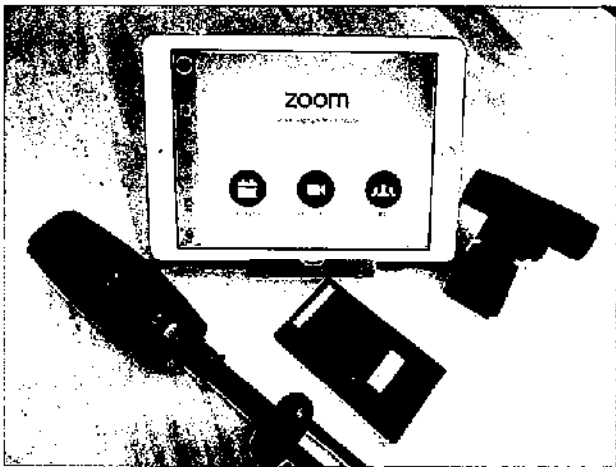
事業名	事業内容	区分	支財	受益者(人)
		開催日時・場所		延べ人数
講師派遣事業	大学等に講師を派遣して病弱児支援について 広報、周知活動	謝金	701,197	講演等参加者 約 1,200 名
		年間 9 回・オンライン等		3 名
多職種連携 ネットワークづくり	YouTube ライブ配信による多職種連携の 事例紹介やライブチャットによる質問回答	助成	554,304	全国の関係者 約 340 名
		年間 3 回・オンライン		5 名
アウトリーチ拡大事業	電話相談ダイヤル新設、支援解説動画制作 WEB 広告や動画を活用した啓発活動	助成	1,935,156	当事者家族等 約 100 名
		随時・オンライン等		5 名
		小計	3,190,657	

事業費計：13,628,230 円

個別学習支援、双方向WEB学習支援



▲支援拠点での個別学習支援風景



▲双方向 WEB 学習支援用 ICT 機器

- ・今年度も訪問は行わず、主に自宅療養中の子どもに対し、療養中の学習空白を補う学習支援や、受験勉強サポートなどニーズに合わせた支援をオンラインで実施した。
- ・岡山市保健所や岡山県教育委員会、病院のスタッフからの紹介、相談ダイヤルなど様々な方面からの依頼に対応した。
- ・長期入院中の子どもに関する依頼では学校行事の中継のほかに、入院中の高校生には所属学校の遠隔授業のサポートも行った。
- ・長期入院から退院後に感染症の不安のある子が自主休校をした際には、約2か月間にわたり学校の授業や宿題の補助など学習空白を補う支援を重点的に行った。

ボランティア育成(新規ボランティア研修、フォローアップ研修)

■新規ボランティア説明会および初回研修

開催日：2021年5月15日

- ・岡山県内の大学窓口や団体HPよりボランティアを募集
- ・説明会及び初回研修を受講後に活動開始
- ・年間で10名の新規ボランティア登録者(参加16名中)


■フォローアップ研修

- ・各オンライン支援後に振り返り会を実施
- ・夏祭りやクリスマス会など子どもたちとの交流イベントは、大学生ボランティアと共同で企画することでスキルアップにつなげた。

子どもが「重い病気」になると・・・

- ◆入院・・・自分の今いる環境が変わる
- ◆家庭・学校などの日常から切り離される
- ◆生活に制約(ルール)がいっぱい
- ◆治療・検査という、わけのわからない苦痛
(心が成長するとも言ったりしますが)
何より、治療しなければ
自分の命が守られないかもしれない状況

病気そのもの以外にも
たくさん困ることがあります



▲オンライン開催した新規ボランティア説明会

慢性疾病を抱える子どもの相互交流を支援する「ポケットスペース」

- ・支援拠点、市内2か所の小児病棟を結ぶオンライン支援により、年間延べ137名の子どもや保護者と交流や相談、学習支援を実施した。
- ・初めてオンライン学習支援や交流支援を利用する子どもたちや保護者が安心して利用できるよう、貸し出し中のタブレット端末に紹介動画を製作し、医療スタッフから事前に説明できるよう準備した。
- ・Salesforce（セールスフォース）による個別支援事例のデータ蓄積により、支援員の記憶に頼るだけでなく過去の支援内容を反映しながら、再入院や退院後のフォローも含め、個別最適化された支援活動を行っている。
- ・医療機関に配布しているタブレット端末にMicrosoft Teamsを設定し医療関係者との日々の活動連絡や、子どもの学習用プリントの写真共有などを行っている。
- ・支援内容は知育ゲームによる交流、長期療養中の復学に関する相談や、学習支援、学校生活での配慮事項の伝え方など、長期療養経験のある支援員を中心に幅広く行った。
- ・学習支援ボランティアなど、支援従事者は年間延べ350名に達した。
- ・すべての支援活動をオンラインに変更されたが、支援拠点では感染症対策を徹底して、ICTを活用した学習や交流の支援活動を実施した。



岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務

体験交流イベント

感染拡大防止としてステイホーム中の子どもや家族も参加できるYouTube配信や、ZOOMの同時双方向で実施した。企画・運営はスタッフや学習支援ボランティアを中心に行った。

- タッチダウンチャレンジ2021（科学工作）
開催日時：2021年4月29日 参加者：10名
- 大原美術館オンラインツアー
開催日時：2021年7月18日 参加者：18名
- ポケサポ夏祭り2021&ピンゴ大会
開催日時：2021年8月29日 参加者：30名

- ポケサポクリスマス会2021
開催日時：2021年12月18日 参加者：18名
- ポケサポデー（土曜日オンライン交流会）
開催日時：6月19日、10月31日、2月26日
参加者：小学生から高校生まで各15名程度



▲ポケサポデーでのオンライン交流の様子

きょうだい・家族ケア

緊急事態宣言や感染症対策のため、様々な制限がある中で、少しでも現状の子どもたちの笑顔に繋がる、私たちができることを検討して、入院中の子どもたちや放課後等デイサービスを利用する子どもたち、子どもの居場所づくりをする団体等にお菓子や知育玩具を届ける「笑顔のおすそわけプロジェクト」を実施した。

【協力いただいた団体等】(順不同・敬称略)

- ・NPO 法人杜の家「りゅうそう放課後ラボ」
- ・一般社団法人
子どもソーシャルワークセンターつばさ
- ・岡山済生会総合病院
- ・NPO 法人ふれあいサポートちゃていず
- ・NPO 法人あかね

株式会社 BATON 様よりバックパックを 73 個寄贈いただき、ポケットサポートの利用者、県内支援学校の病弱部、放課後等デイサービスを利用する子どもたちやきょうだいへ配布した。



▲5月28日にオンラインで贈呈式を開催



▲子どもたちから届いた着用写真

オンライン支援の岡山モデル構築(遠隔操作ロボット試作)

- ・ベネッセこども基金の助成により、遠隔授業の補助等オンライン支援で使用できる首振り型のロボットを試作した。
- ・試作したロボットは、他地域で当団体と同様に病弱児支援を行う2団体に体験モニターとして協力いただき、開発フィードバックを行った。
- ・地元の山陽新聞にも取り上げられ、プレスリリース配信「PR TIMES」を通じても3回に分けて、病弱児に関する支援拡充を目的とした情報発信を実施した。



▲2022年2月17日(木)山陽新聞朝刊掲載

長期療養を必要とする中高生が安心して学べる環境整備

- ・みんなでつくる財団おかやまからの助成により、県内公立学校の学校現場で主に使用されている chromebook を当団体職員向けにも導入。
- ・職員向け研修を行い、遠隔授業サポートの相談案件の際に動作確認や操作説明で活用した。
- ・当団体が学習支援等をした中高生3名の事例をもとに当事者にインタビューを行った事例集「未来への夢と希望」を製作。県内約70校の高等学校へ配布し、WEB上では無料配布した。



闘病している 現役中高生の 生の声を掲載

認定NPO法人
ポケットサポートが制作

▲制作した冊子（B5サイズ、全12ページ）

講師派遣事業

2021年度は年間13回の講演等を実施できた。新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼオンラインの開催となった。前年度より聴講人数は増加しており、大学の特別講義に加え、他地域での病弱児支援に関する研修の講師、学会発表など幅広い依頼に対応した。内容は自身の闘病経験に関することや、岡山での病弱児支援の取組、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業など多岐にわたっている。

- ①5月10日：岡山大学教育学部
特別支援教育学講座／zoom開催・参加60名
- ②7月3日：北九州市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業「学習支援ボランティアと患児・家族の交流会」／zoom開催・参加8名
- ③8月3日：令和3年度岡山県中学校教育研究会岡山支部養護教諭研修会
病気を抱える子どもたちの教育支援について
参加者：市内中学校養護教諭・保健主事45名
場所：岡山ふれあいセンター
- ④8月9日：岡山大学経済学部
オープンキャンパス／zoom開催・500名

- ⑤8月29日：未来ISSEY ボランティア研修会
第3回「伝える」研修会／zoom開催・17名
- ⑥10月15日：第62回日本母性衛生学会総会・
学術集会ワークショップ オンデマンド配信
- ⑦10月30日：第52回全国学校保健学校医大会
岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援
の取り組み／zoom開催・参加者約80名
- ⑧10月30日 ノートルダム清心女子大学
zoom開催・参加者約60名
- ⑨11月20日：北九州市小児慢性特定疾病児童等
自立支援事業「北九州市の小児慢性特定疾病
児童等支援に関わる研修会」／zoom開催12名
- ⑩12月18日：北九州市小児慢性特定疾病支援室
学習支援ボランティアと患児・家族の交流会
zoom開催・参加者9名
- ⑪3月1日：国立特別支援教育総合研究所
第三期特別支援教育専門研修〔病弱専修プロ
グラム〕／zoom開催・参加者9名
- ⑫3月12日：一般社団法人てくてくびあねっと
病気のせいにしない育児がしたい
zoom開催・参加者123名

⑬3月19日：ベネッセこども基金 Meetup#3
病気になるのに、学びって必要なの？／参加 121名

著作

①岩波ジュニアスタートブックス「支える、支えられる、支え合う」病気を抱えていても自分らしくいられるように／岩波書店

②季刊 特別支援教育 No.82

子供をささえるネットワーク

「教育・医療・行政と連携する認定NPO 法人
ポケットサポートの取組」文部科学省初等中等
教育局特別支援教育課／著

ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。

多職種連携による地域支援ネットワークづくり

病気の子どもに携わる多職種が連携するための勉強会「子どもたちに生きる力を！私たちに今できること」と題し全3回のYouTubeライブ配信によりネットワークづくりを実施した。

第1回：8月7日（土）「入院中の支援や、退院後の復学支援について」

講師：岡山医療センター 樋口 洋介 先生
参加者：196名（YouTubeライブ配信視聴者）

第2回：10月23日（土）「入院や連携が必要な小児がんの子どもたちについて」

講師：倉敷中央病院 納富 誠司郎 先生
参加者：130名（YouTubeライブ配信視聴者）

第3回：1月29日（土）「当事者目線で考える」

講師：倉敷市立庄中学校 難波 真 先生

先天性心疾患当事者 古賀 充容さん

参加者：143名（YouTubeライブ配信視聴者）

実際の病院で行われている復学支援について、ポケットサポートとの連携事例、院内学級の様子など現場感のある内容、先生の質問に対する的確な答えなど、満足度の高い内容となった。

すべての回でライブチャットによる質問にも回答を行い、チャット内でも院内学級や支援学校の教員などをはじめとする学校関係者、医療関係者や当事者などが活発に意見交換を行う様子が見られた。

ひとりじゃないよ みんなで応援BOX 配布プロジェクト

当事者家族を応援すると同時に、様々な関係機関と繋がる機会を増やすことを目的に「応援BOX」を作成した。内容は環境に配慮した素材のトートバッグやエコバッグ、アルコール除菌シート、子どもたちには駄菓子や応援メッセージを同封した。89名に送付して繋がりを継続した。

また、当団体と繋がるきっかけを増やすことを目的とし、当事者が検索する想定キーワードから、検索連動型広告を掲載し特設ページを制作した。相談事例の紹介、保護者からの声、多職種連携での支援内容、相談窓口などを情報提供した。



▲みんなで応援BOXの内容物

運営に関する事項

(1) 総会

通常総会	開催日	2021年6月27日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	社員総数27名のうち22名出席(表決委任状を含む)
	決議事項	・2020年度(令和2年度・第6期)事業報告及び決算報告について ・活動内容の拡大に伴う定款変更について

(2) 理事会

第1回	開催日	2021年4月24日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・令和3年度の事業計画及び予算案について ・定款変更内容の検討について
第2回	開催日	2021年6月27日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・定款変更に伴う事業計画について ・役員改選について
第3回	開催日	2021年6月29日(月)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・役員任期満了による改選の件 ・理事長の互選の件
第4回	開催日	2021年7月14日(水)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・役員の選任について
第5回	開催日	2021年12月11日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・電子帳簿保存法の改正に伴う電子取引データの保存に関する規程について ・監事の選任について

第 6 回	開催日	2022 年 2 月 5 日 (土)
	場所	ポケットサポート事務所 (岡山市北区奥田本町 22-2) ※オンライン
	出席	理事 3 名 (本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名)
	決議事項	・事務所の光熱費について
第 7 回	開催日	2022 年 3 月 26 日 (土)
	場所	ポケットサポート事務所 (岡山市北区奥田本町 22-2) ※オンライン
	出席	理事 3 名 (本人出席 3 名、委任状 0 名、欠席 0 名)、監事 1 名
	決議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・監事の辞任及び新任について ・給与規程に基づいた諸手当の支給について ・2022 年度の役員報酬年額について ・2022 年度の事業計画及び活動予算について

(3) 補助金・助成金

補助・助成機関名（順不同）	内 容	金 額
公益財団法人ベネッセこども基金	GIGA スクール構想と組み合わせた 病気を抱える児童生徒の地域連携支援	1,800,000
Yahoo!基金	あなたは一人じゃない！ 支援者と繋がるプロジェクト	900,000
タケダ・ウェルビーイング・ プログラム	コロナ禍における長期療養児への WEB アウトリーチ事業	800,000
公益財団法人みんなでつくる財団 おかやま	長期療養が必要な中高生が安心して学べる 環境整備事業	350,000
MDRT Foundation-Japan	みんなで一緒に学ぼう SDGs YouTube ライブ配信（2022年5月開催）	200,000
岡山市市民活動支援金	コロナ禍における病気療養児の支援拡充	100,000
岡山市人権啓発補助金	みんなで作り広める人権啓発グッズ制作事業	427,541

(4) 受託事業

委託元	内 容	金 額
岡山市	岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務	2,000,000

(5) 外部委員会への参加など

委員会等名（順不同）	委員名
SDGs ネットワークおかやま 副会長	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	奥田 修平
岡山県院内学級連絡協議会	三好 祐也

活動計算書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人 ポケットサポート

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	260,000	
賛助会員受取会費	635,000	895,000

【受取寄付金】

受取寄付金	7,849,310	
ボランティア受入評価益	612,000	8,461,310

【受取助成金等】

受取助成金	3,528,634	
受取補助金	527,541	
受取給付金	900,000	4,956,175

【事業収益】

受託事業収益	2,000,000	
事業収益1	209,294	2,209,294

【その他収益】

受取利息	56	
雑収益	17,824	17,880

経常収益計

16,539,659

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料手当(事業)	1,771,000
役員報酬(事業)	1,837,124
臨時雇賃金	6,000
ボランティア評価費用	552,000
法定福利費(事業)	541,689
人件費計	4,707,813

(その他経費)

業務委託費	407,242
諸謝金	127,000
印刷製本費(事業)	336,148
図書費(事業)	27,689
会議費(事業)	28,539
旅費交通費(事業)	21,530
通信運搬費(事業)	1,036,487
文具費(事業)	14,753
消耗品費(事業)	5,216,570
材料費(事業)	16,901
広告宣伝費(事業)	225,604
水道光熱費(事業)	89,100
地代家賃(事業)	540,000
賃借料(事業)	210,534
研修費(事業)	15,000
支払手数料(事業)	607,320

その他経費計

8,920,417

事業費計

13,628,230

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人 ポケットサポート

自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

【管理費】			
(人件費)			
役員 報酬	382,876		
給料 手当	969,915		
法定福利費	60,189		
ボラ評価損	60,000		
人件費計	1,472,980		
(その他経費)			
業務委託費	40,860		
印刷製本費	134,971		
会 議 費	3,618		
図 書 費	770		
通信運搬費	260,120		
消耗品 費	282,154		
研 修 費	500		
修繕費	3,506		
水道光熱費	5,900		
地代 家賃	60,000		
保 険 料	18,724		
諸 会 費	6,000		
租税 公課	3,500		
支払手数料	107,528		
雑 費	5,266		
その他経費計	933,417		
管理費 計		2,406,397	
経常費用 計			16,034,627
当期経常増減額			505,032
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			505,032
当期正味財産増減額			505,032
前期繰越正味財産額			4,469,307
次期繰越正味財産額			4,974,339

貸借対照表

特定非営利活動法人 ポケットサポート
全事業所

【税込】(単位:円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金 74,298

商品券 215,762

郵便振替 804,222

普通預金 6,150,712

現金・預金計 7,244,994

(その他流動資産)

立替金 6,910

その他流動資産計 6,910

流動資産合計 7,251,904

【固定資産】

固定資産合計 0

資産合計 7,251,904

《負債の部》

【流動負債】

未払金 478,738

前受金 1,721,366

預り金 77,461

流動負債合計 2,277,565

負債合計 2,277,565

《正味財産の部》

前期繰越正味財産 4,469,307

当期正味財産増減額 505,032

正味財産合計 4,974,339

負債及び正味財産合計 7,251,904

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	学習復学支援	交流活動	講演活動	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	895,000	895,000
2. 受取寄付金	305,511	4,808,446	0	5,113,957	3,347,353	8,461,310
3. 受取助成金等	1,918,154	200,000	1,938,021	4,056,175	900,000	4,956,175
4. 事業収益	0	2,000,000	209,294	2,209,294	0	2,209,294
5. その他収益	0	0	16	16	17,864	17,880
経常収益計	2,223,665	7,008,446	2,147,331	11,379,442	5,160,217	16,539,659
II 経常費用						
(1) 人件費						
給与 手当	592,000	920,000	259,000	1,771,000	969,915	2,740,915
役員 報酬	819,385	715,742	301,997	1,837,124	382,876	2,220,000
臨時雇賃金	0	6,000	0	6,000	0	6,000
ボランティア評価費用	0	552,000	0	552,000	60,000	612,000
法定福利費	180,563	180,563	180,563	541,689	60,189	601,878
人件費計	1,591,948	2,374,305	741,560	4,707,813	1,472,980	6,180,793
(2) その他経費						
業務委託費	11,000	105,600	290,642	407,242	40,860	448,102
諸 謝 金	63,000	4,000	60,000	127,000	0	127,000
印刷製本費	47,358	18,710	270,080	336,148	134,971	471,119
図 書 費	24,279	3,410	0	27,689	770	28,459
会 議 費	2,862	25,677	0	28,539	3,618	32,157
旅費交通費	0	21,530	0	21,530	0	21,530
通信運搬費	50,967	390,006	595,514	1,036,487	260,120	1,296,607
文 具 費	0	14,753	0	14,753	0	14,753
消耗品 費	945,859	3,878,169	392,542	5,216,570	282,154	5,498,724
材 料 費	16,901	0	0	16,901	0	16,901
広告宣伝費	197,604	0	28,000	225,604	0	225,604
修 繕 費	0	0	0	0	3,506	3,506
水道光熱費	17,700	63,700	17,700	89,100	5,900	95,000
地代 家賃	180,000	180,000	180,000	540,000	60,000	600,000
賃 借 料	0	78,824	131,710	210,534	0	210,534
保 険 料	0	0	0	0	18,724	18,724
諸 会 費	0	0	0	0	6,000	6,000
租税 公課	0	0	0	0	3,500	3,500
研 修 費	0	0	15,000	15,000	500	15,500
支払手数料	27,390	112,021	467,909	607,320	107,528	714,848
雑 費	0	0	0	0	5,266	5,266
その他経費計	1,584,920	4,886,400	2,449,097	8,920,417	933,417	9,853,834
事業費計	3,176,868	7,260,705	3,190,657	13,628,230	2,406,397	16,034,627
当期経常増減額	△ 953,203	△ 252,259	△ 1,043,326	△ 2,248,788	2,753,820	505,032

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

〔税込〕(単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
交流支援ボランティア	552,000	時給1,600円×年間のべ345時間
経理事務ボランティア	60,000	時給1,000円×5時間×12回
合 計	612,000	

【使途等が制約された寄付等の内訳】

〔税込〕(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
ベネッセ子ども基金 2020	1,800,000	0	1,800,000	0	ドリー型ロボット開発等助成金 事業期間: R3年4~3月
ベネッセ子ども基金 2021	0	1,000,000	0	1,000,000	多職種連携WEBアウトリーチ助成金 事業期間: R4年4~3月
MDRT助成金 2021	200,000	0	200,000	0	オンラインDAYキャンプ助成金 事業期間: R3年4~9月
MDRT助成金 2022	0	200,000	0	200,000	SDGsオンラインYouTubeライブ配信 事業期間: R4年5月
タケダ・ ウェルビーイング・ プログラム2021	0	800,000	278,634	521,366	コロナ禍WEBアウトリーチ助成金 事業期間: R4年4~6月
合 計	2,000,000	2,000,000	2,278,634	1,721,366	

【役員及びその近親者との取引の内容】

〔税込〕(単位:円)

科 目	財務諸表に 計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び 支配法人等との取引
(活動計算書) 水道光熱費	95,000	95,000	0
(活動計算書) 地代家賃	600,000	600,000	0

財 産 目 録

特定非営利活動法人 ポケットサポート
全事業所

[税込] (単位:円)
2022年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	74,298
商 品 券	215,762
郵便 振替	804,222
普通 預金	6,150,712
中国銀行	(3,238,666)
ろうきん	(2,698,634)
楽天銀行	(213,412)
現金・預金 計	7,244,994

(その他流動資産)

立 替 金	6,910
その他流動資産 計	6,910

流動資産合計

7,251,904

【固定資産】

固定資産合計

0

資産合計

7,251,904

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	478,738
前 受 金	1,721,366
預 り 金	77,461
社会保険	(51,389)
雇用保険	(6,466)
源泉所得税	(7,806)
住民税	(11,800)

流動負債合計

2,277,565

負債合計

2,277,565

正味財産

4,974,339

前事業年度の年間役員名簿

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	代表理事	三好 祐也		R3年4月1日 ~R4年3月31日	R3年4月1日~ R4年3月31日
2	理事	松本 圭子		R3年4月1日 ~R4年3月31日	報酬無し
3	理事	山口 そのえ		R3年4月1日 ~R4年3月31日	報酬無し
4	監事	森高 寛行		R3年4月1日 ~R4年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。